

1 戦略的な観光地域づくり

(1) 戦略的な観光地域づくりの体制整備（日本版DMO）

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光新時代の旅行者へのおもてなし環境・拠点整備事業 (12,205千円)	(公社)富山県観光連盟(現とやま観光推進機構)を、本県の戦略的な観光地域づくりの推進組織(日本版DMO)として強化するため、必要な機能(観光マーケティング、マネジメント手法等)を検討・設計するとともに、中期計画の策定やDMOの取組みの周知等を実施した。	観光課
富山県観光連盟機能強化事業 (3,125千円)	(公社)富山県観光連盟(現とやま観光推進機構)の旅行業登録(2種)並びに着地型旅行商品の開発を支援した。	観光課
富山県・新観光振興戦略プラン策定事業 (9,416千円)	<p>新・富山県観光振興戦略プランを策定するため、北陸新幹線開業後の状況や課題について基礎調査を行うとともに、有識者や観光・交通事業者等からなる検討会議を開催した。</p> <p>○基礎調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県観光客動態調査(観光地点パラメータ調査) 県内での訪問地点数や観光消費額等について、観光客に面接アンケート調査を実施した。 ・観光関係機関へのアンケート調査 新幹線開業前後の来訪状況の変化について、宿泊施設及び観光施設に郵送アンケート調査を実施した。 ・首都圏居住者アンケート調査 新幹線開業前後の来訪状況について、首都圏居住者にインターネット調査を実施した。 	観光課

(2) グローバル化に対応した次世代の観光を担う人づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光未来 創造塾事業 (20,890千円)	おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。また、外国人旅行者向けのガイドツアーを企画する人材育成を目的として、新たに「グローバルコース」を開設した。 ○修了生 65名 (内訳) 観光おもてなし入門コース 21名 観光ガイドコース(中級専攻) 11名 〃 (上級専攻) 5名 観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 9名 〃 (観光地域リーダー専攻) 17名 グローバルコース 2名	観光課
外国人対応サービス人材育成事業 (6,572千円)	外国人旅行者の受入態勢を充実させるため、観光事業者において雇用型訓練を実施することにより、外国人旅行者に接遇やサービスを提供できる人材を育成した。	観光課

(3) 地域の観光を支える人づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま観光未来 創造塾事業 (再掲) (20,890千円)	おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。また、外国人旅行者向けのガイドツアーを企画する人材育成を目的として、新たに「グローバルコース」を開設した。 ○修了生 65名 (内訳) 観光おもてなし入門コース 21名 観光ガイドコース(中級専攻) 11名 〃 (上級専攻) 5名 観光魅力アップコース(食のおもてなし専攻) 9名 〃 (観光地域リーダー専攻) 17名 グローバルコース 2名	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光地域リニューアル支援事業 補助金 (826 千円)	<p>専門家による指導により、個性ある観光地域や観光施設をつくる取組みを支援し、観光地域のリニューアルを図った。</p> <p>・補助件数 2 件</p>	観光課
観光振興・地域活性化マネージャー配置事業 (12,000 千円)	<p>専門的な見地から観光振興事業等を検討・推進する観光振興・地域活性化マネージャーの黒部市への配置及びその活動について支援し、宇奈月温泉を活用した観光振興及び地域活性化を推進した。</p>	観光課
おもてなしタクシー ドライバー 養成事業 (1,458 千円)	<p>タクシー利用者に対して、質の高いおもてなしやきめ細やかなサービスを提供できる優れたタクシードライバーを表彰し、ドライバーの接遇やサービス意識の向上を図った。</p>	観光課

(4) 旅行者の満足度を向上させる受入環境の整備・支援

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
宇奈月国際会館 運営費補助金 (19,500 千円)	<p>本県を代表する観光地の一つである宇奈月温泉に立地するコンベンション施設「宇奈月国際会館」の運営費の一部を助成した。</p>	観光課
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業 (3,955 千円)	<p>外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。</p> <p>・広域観光案内標識（県事業） 設置件数 2 件（能越自動車道の能越県境 P A）</p> <p>・外国語観光サイン整備（市町村補助事業） 補助件数 新規 3 件 改修 19 件</p>	観光課
外国船入港に係る 歓迎セレモニーへの 支援 (1,500 千円)	<p>クルーズ船の歓迎機運の醸成により、継続的な寄港・さらなる寄港につなげるため、港湾振興会等が開催する入港歓迎式典等に係る費用の一部を助成した。</p>	地方創生推進室
自然公園等整備 事業等 (81,684 千円)	<p>わが国を代表する山岳公園「中部山岳国立公園」の主要利用拠点である、アルペンルート沿線や黒部峡谷において、安全で快適な利用を推進するために歩道や山岳トイレ等の整備を行い、観光客の利便性の向上などを図った。</p>	自然保護課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
有峰森林文化村 推進費 (49,051千円)	豊かな森林を有し、多くの人々が訪れる風光明媚な有峰において、有峰森林文化村公園及び有峰ハウスの適切な管理運営を行い、利用者が安心して施設利用等ができるよう施設整備（保守点検）等に努めた。	森林政策課
新幹線駅周辺花 いっぱいおもて なし事業 (5,562千円)	県花であるチューリップや富山ゆかりのサクラ等で新幹線駅構内を華やかに彩り、花と緑による観光客のおもてなしを実施した。	森林政策課
とやまの名所再 発見標識整備事 業 (25,500千円)	新幹線開業を契機に本県のさらなる魅力をPRするため、観光スポット（隠れた名所）への案内標識を整備し、認知度の向上及び観光客の誘導を図った。 ・湾岸道路沿いの17施設	道路課
県立都市公園の 整備・改修 (616,675千円)	県民のみならず県外からの観光客にも多く利用される憩いの場やスポーツ・レクリエーションの場である県立都市公園の整備・改修を実施し、利用者の利便性向上などを図った。 ・実施内容 県民公園太閤山ランド（プール遊具・施設の改修等） 総合運動公園（クロスカントリーコース舗装更新等） 岩瀬スポーツ公園（スポーツドーム人工芝更新等） 五福公園（野球広場審判室更新等） 空港スポーツ緑地（照明施設塗装更新等） 県庁前公園（外周改修等） 富岩運河環水公園（演出施設給排水・ポンプ更新等）	都市計画課
県立都市公園の 維持管理 (975,480千円)	県立都市公園の適正な維持管理に努め、利用者の安全と満足度の向上などを図った。 ・県立都市公園 富岩運河環水公園、県民公園 太閤山ランド、総合運動公園、常願寺川公園、県民公園 新港の森、岩瀬スポーツ公園、五福公園、空港スポーツ緑地、県庁前公園	都市計画課 環境政策課

(5) 観光産業と他産業の連携による域内経済循環の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
(公社)富山県観光連盟運営費補助金 (8,680千円)	富山県内における観光事業の健全な発展及び振興並びに地域の活性化に取り組む(公社)富山県観光連盟(現とやま観光推進機構)の運営に対し補助を行った。	観光課
(一財)富山観光物産センター運営費等補助金 (26,669千円)	富山の観光情報や文化・特産品の発信拠点として富山の魅力を県内外に広くアピールする(一財)富山観光物産センターの運営に対し補助を行った。	観光課
(公社)日本観光振興協会負担金 (718千円)	(公社)日本観光振興協会への負担金の拠出により、観光旅行の安全の確保、利便性の向上などの同協会の事業に対し支援を行った。	観光課
旅館施設近代化等促進事業 (42,387千円)	宿泊施設が行う客室の増設やリニューアルなどの整備に対して融資(富山県商業サービス業活性化資金観光旅館施設整備枠融資制度)し、宿泊施設の誘客力の向上を図った。 ・融資件数 継続分 6件	観光課
とやま起業未来塾事業 (20,460千円)	「夢」「情熱」「志」を持った創業者、世界に羽ばたく企業人を育成する「とやま起業未来塾」を開講し、産業の活性化による活力ある県づくりを進めることにより、誘客促進等につなげた。 ・修了者数 23名	経営支援課
次世代伝統工芸作家挑戦支援事業 (7,156千円)	ファッション、アートの最先端地であるニューヨークで、富山県の長い歴史に培われ、伝統的な技術・技法を有する優れた伝統工芸品をPRする展示会を開催することにより、本県の伝統産業に従事する企業の海外販路開拓を支援した。	経営支援課
とやまの資源発掘ブラッシュアップ事業 (1,429千円)	地域資源(産地の技術、農林水産品、観光資源)を活用し、新商品や新サービス開発などの事業展開に取り組もうとしている中小企業及び、農林水産業や商工業等の枠を超えた連携による効果的な取組みの掘り起こしや、地域資源を活用する取組みの事業化へ向けたサポートを実施した。 (補助先:公益財団法人富山県新世紀産業機構) ・発掘実績 5件 ・ブラッシュアップ実績 18社 計40回	経営支援課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山県商業・サービス業活性化資金新幹線開業対策枠融資 (1,500,000千円)	北陸新幹線開業を契機とし、誘客促進や県の魅力発信のための店舗の出店・改装を行う中小企業者（飲食業、小売業、サービス業）に対し、融資を行った。 ・融資件数 新規分 1件	経営支援課
新幹線開業対策商店街魅力向上事業 (2,574千円)	観光施設等との回遊性向上のための施設整備や地域資源を活用したイベント、空き店舗対策等商店街の魅力を向上させる取組みを支援した。	商業まちづくり課

(6) 観光の担い手としての事業者・県民の意識醸成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ハローとやま☆貼ろう事業 (1,789千円)	富山県の観光ポスターを作成し、県内外の事業所や飲食店に掲示することにより、観光振興への地域の機運を醸成するとともに、観光客の誘致促進を図った。 ・作成部数 増刷 5,250部（5種類） 新作 750部（1種類）	観光課
新幹線戦略とやま県民会議の運営 (301千円)	官民の代表者で構成される「新幹線戦略とやま県民会議」において、開業前後、開業後の取組みについて意見交換を行った。	知事政策局
新幹線開業効果促進事業補助金 (9,000千円)	新幹線開業効果のさらなる持続・発展を図り、県内の民間団体等による歓迎イベント、新幹線沿線でのPR等、地域の活性化や魅力ある地域づくりを目的とする事業に対して補助を行った。	知事政策局
ふるさと魅力発見PR事業 (5,144千円)	富山の自然、歴史や文化などを学ぶ検定「越中富山ふるさとチャレンジ」の実施により、県民がふるさと富山の魅力を再発見し、誇りをもって全国にPRする意識の醸成を図った。 ・受検者数 1,051名	地域振興課
富山ふるさとマスター派遣事業 (1,029千円)	学校、企業、地域住民、市町村等が開催するふるさとに関する研修会等に、越中富山ふるさとチャレンジ上級合格者等（富山ふるさとマスター）を講師として派遣することなどにより、ふるさとへの誇りや愛着を育む気運の醸成を図った。 ・富山ふるさとマスター登録者数 15人 ・派遣回数 42回	地域振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
新幹線開業県民 協働事業 (5,156千円)	<p>新幹線開業後に、地域活性化の促進を図るため、県民が行う県（地域）の魅力の創造・発信や機運の醸成を図る事業に対して、広く支援した。</p> <p>・補助件数 18件</p>	男女参画・ 県民協働課

2 広域観光の拠点化

(1) 広域観光ハブ（交通結節点）としての優位性を活かした拠点整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
広域観光案内所 運営事業 (10,402千円)	新幹線駅など、県内5か所の広域観光案内所の運営に対し支援を行った。	観光課
訪日旅行・富山 旅行センターの 設置等 (14,873千円)	国内外の個人旅行者の増加に対応し、日本語、英語、中国語で広域の観光情報等を提供するため、案内デスクやデジタルサイネージ、ウェブサイト等の整備を行った。	観光課

(2) 主要駅・空港と観光地を結ぶ二次交通の整備・利便性向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ぐるっと富山観 光アクセス充実 事業 (32,049千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、県内の主要駅等を発着する観光路線バス、ツアーバスの運行経費の一部を助成した。 ・補助件数 観光路線バス 4件 ツアーバス 19件	観光課
乗りたくなる公 共交通推進事業 費 (2,829千円)	交通事業者が実施するバスや軌道車両のイメージアップのための取組み（車両のラッピング など）を支援し、観光客の公共交通機関の利用促進を図った。 ・補助件数 7件	総合交通政策室
新幹線アクセス 路線バス等調 査・実証運行支 援事業費 (5,500千円)	旅行者が周遊しやすい環境づくりを進めるため、新幹線駅から並行在来線駅や県内観光地等を結ぶバス路線新設に向けた実証運行事業に対し支援した。 ・補助件数 3件	総合交通政策室
富山地鉄 新幹線二次交通 活性化事業 (35,488千円)	富山地鉄が実施する新幹線開業に合わせた積極的な誘客や利便性の向上に資する事業に対して、市町村と連携して支援した。 ・主な事業 駅施設の環境改善 アテンダントの配置、列車増発の社会実験 観光プロモーション 等	総合交通政策室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
県内周遊型公共交通連携推進事業 (8,497千円)	北陸新幹線を利用して本県を訪れる県外旅行者等に対し、公共交通機関を利用した県内周遊を促すため、県内を中央・西部・東部の3エリアに分け、企画きっぷを販売した。	総合交通政策室
富山空港利用促進事業 (3,425千円)	富山空港を利用して来県する団体旅行者の国内移動のためのバスを運行する県内バス会社に対して助成し、富山空港を利用した広域観光の推進を図った。 ・補助件数 国際線 70件(70台) 国内線 5件(5台)	総合交通政策室

(3) 広域観光の拠点としての賑わい創出・魅力向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
環水公園等賑わい空間創出事業 (18,500千円)	富岩運河環水公園において四季折々のイベントなどを開催し、環水公園を中心とする富山駅周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。 ・夏、冬の音楽花火のショーや水辺のコンサートなどのアーティスティックなイベント ・グルメバトルや環水マルシェなど、富山の食の魅力を発信するイベント ・秋から冬にかけて園内を美しく彩るスイートイルミネーションの実施 など	観光課
環水公園ナイトファンタジア事業 (3,500千円)	環水公園の夜の魅力を堪能できるようなイベントコンテンツを充実し、来園者の夜間も含めた通年での長時間滞在の推進を図った。 ・環水公園を舞台とするショートアニメの制作・上映 ・ナイトマーケットなど夜間のイベントの充実	観光課
環水公園ウィンターファンタジア事業 (3,200千円)	冬の環水公園の魅力を広く発信するため、水辺空間と雪景色を活かした光と音楽の祭典「環水公園ウィンターファンタジア」を開催し、富山駅周辺地区の年間を通じた賑わい創出を図った。 ・バレンタイン花火の実施 ・ライブコンサートやLEDアトラクションの実施	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
学習支援船の運航事業 (5,000千円)	富岩運河を活用した学習支援船(富岩水上ライン)の運航により、運河の歴史や水辺環境の学習を支援するとともに、富岩運河の魅力向上や活力ある地域づくりの促進を図った。	観光課
富岩水上ライン利用促進事業 (6,800千円)	富岩水上ラインの利便性向上や魅力発信などにより、利用促進を図った。 ・リーフレット・ポスター作成 ・6周年記念イベントの開催 など	観光課
富山駅賑わい創出基本調査事業 (957千円)	富山駅並行在来線高架下空間の開発を検討するにあたり、新幹線開業後の富山駅の利用者等のニーズや感想を聞く調査を実施した。	総合交通政策室

3 富山らしい魅力創出：量から質への転換を促進

(1) 世界水準の観光資源「世界遺産五箇山」「立山黒部」の高付加価値化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光地区開発事業費 (2,886千円)	世界文化遺産に指定されており、本県の貴重な観光資源である五箇山地区の合掌造り家屋の茅葺屋根葺き替え等に係る経費の一部を助成し、合掌造りの建物の保全・整備を図った。 ・補助件数 2件	観光課
立山黒部アルペンルートお出迎え充実事業 (1,000千円)	立山黒部アルペンルートの観光客を対象に、立山駅において県内観光地のPRコーナー等を設置し、県内周遊を促した。繁忙期には、ケーブルカーの待ち時間対策として、伝統芸能の披露を行った。	観光課
立山黒部アルペンルート除雪事業 (12,000千円)	本県の代表的な観光地であり、長野県との広域観光にも大きな役割を果たす立山黒部アルペンルートの早期全線開通を図るため、立山ルート除雪組合が実施する除雪事業に対して助成した。	観光課
立山登山・トレッキング魅力PR事業 (1,600千円)	立山や登山の魅力を体感する日本一高い雲上のアウトドアイベント「立山黒部アルペンフェスティバル」を官民共同で開催することにより、安全登山や自然保護とあわせて立山の様々な魅力の普及啓発を図った。	観光課
立山山麓レクリエーション地区整備推進事業負担金 (312千円)	立山黒部アルペンルートの入口に位置する立山山麓地区の魅力を広く発信し、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成や旅行会社等への宣伝活動の展開 ・標識や案内看板等の整備 など	観光課
観光地活性化モデル事業 (3,000千円)	宇奈月温泉地域の関係者で構成する「黒部市観光事業活性化委員会」が実施する観光地活性化のためのモデル的な取組みを支援し、宇奈月温泉を活用した滞在型観光の推進を図った。 ・事業主体 黒部市観光事業活性化委員会 ・主な事業内容 湯の街ふれあい音楽祭モーツァルト@宇奈月の開催 雪のカーニバルや雪上花火大会の開催	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
世界遺産登録推進事業 (6,500千円)	「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録を推進するため、民間団体が行う事業やイベントを支援し、県民意識醸成と観光振興を図った。 ・各種啓発活動や講演会、現地見学会の開催等	知事政策局
立山博物館管理運営費 (240,383千円)	立山の雄大な自然と、それに育まれた立山信仰などの歴史や文化を紹介する立山博物館において、3回の企画展の開催等により、観光客を含め、立山の魅力を県内外に発信した。	文化振興課
立山カルデラ砂防博物館管理運営費 (125,518千円)	立山カルデラの自然・歴史や、100余年にわたり続けられている日本屈指の砂防事業について広く紹介する立山カルデラ砂防博物館において、年間を通じて常設展や企画展等を実施した。 博物館の野外ゾーンである立山カルデラを実際に訪れて、立山カルデラの自然、歴史、砂防事業について深く理解できる体験学習会（5種類のコースで26回、914人参加）を実施し、県内外の参加者にPRを行った。	砂防課

(2) 世界で最も美しい富山湾の魅力を活かした観光資源の発掘・磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
海の幸・山の幸ブラッシュアップ事業 (2,641千円)	「富山湾鮭」のさらなる魅力創出のため、商標登録の申請や店舗実態調査および調査結果の店舗へのフィードバックなどを実施した。山の幸については、PR広告掲載を実施するなど誘客を図った。	観光課
サイクリング活用による魅力創出・発信事業 (9,162千円)	サイクリングを通じた富山湾の魅力発信・誘客促進のため、富山湾岸サイクリングコースを活用したイベントの開催や台湾メディアモニターツアーの誘致、サイクリングガイドの育成支援等を実施した。	地方創生推進室
マリンスポーツ等プロモーション事業 (3,500千円)	富山湾で楽しむダイビング等の観光商品を旅行会社に売り込み、ツアー化されるよう働きかけるとともに、マリンスポーツ専門誌等を通じ、「世界で最も美しい湾クラブ」に正式加盟した富山湾の魅力やダイビングを紹介し、愛好家の認知度向上並びに誘客を図った。	地方創生推進室

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
自家用船舶オーナー誘致促進事業 (8,171千円)	県外の船舶オーナー向け誘致ツアーの実施や国内最大のボートショー「ジャパンインターナショナルボートショー2016」等でのPRにより、新湊マリーナへの船舶オーナー誘致を図った。	地方創生推進室
環日本海クルーズ推進協議会負担金 (1,000千円)	小樽港、秋田・船川・能代港、伏木富山港、京都舞鶴港、境港が運営する「環日本海クルーズ推進協議会」と連携し、環日本海クルーズの推進を図った。 ・海外船社幹部の招聘 ・クルーズ見本市への共同出展（米国）等	地方創生推進室
富山湾岸サイクリングコース整備事業 (70,000千円)	富山湾の「世界で最も美しい湾クラブ」への加盟を機に、自転車に乗りながら美しい景観など富山湾の魅力を体験できる「富山湾岸サイクリングコース」を整備した。 ・ナビゲーターライン(ブルーライン)の追加整備 ・コース分岐点案内看板の設置	道路課
海王丸保存活用事業 (86,694千円)	文化的価値の高い帆船海王丸を永く保存し、海王丸パークで公開するとともに、総帆展帆や海洋教室、カッター・セイリング教室などにより、海、船、港への関心を高め、観光振興につなげた。	港湾課

(3) 豊かな食の磨き上げ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
海の幸・山の幸ブラッシュアップ事業(再掲) (2,641千円)	「富山湾鮭」のさらなる魅力創出のため、商標登録の申請や店舗実態調査および調査結果の店舗へのフィードバックなどを実施した。山の幸については、PR広告掲載を実施するなど誘客を図った。	観光課
「越中料理」推進事業 (1,800千円)	新鮮で多彩な食材や豊かな食文化を活かした富山ならではの「越中料理」の魅力を県内外に発信することにより、観光振興、交流人口の拡大を図った。 ・ウェブサイト「おもてなし『越中料理』」の充実 ・タペストリーの作成、越中料理提供店への配付 ・創作「越中料理」キャンペーンの実施	地域振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやまブランド 全国発信支援事業 (1,000千円)	<p>業界の枠を超えた複数の業種等で構成された民間グループが実施する、商品等の認知度向上及び富山の地域イメージ確立を図るイベントの開催を支援し、とやまブランドの全国ブランド化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山の酒とかまぼこフェア 日時 平成27年10月4日 場所 東京交通会館 	地域振興課
「とやま食の匠」の認定・普及 (272千円)	<p>富山県の特産品、伝統的な郷土料理や県産食材を活かした創作料理において、卓越した知識や技能を有し、普及活動を積極的に行える個人や団体を「とやま食の匠」として認定し、とやまの食の魅力を県内外に発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規認定 4個人・団体(計 167個人・団体) ・講師派遣 48回 	農産食品課
首都圏及び新幹線沿線県等での「食のとやまブランド」PR (12,371千円)	<p>大消費地である首都圏等において、食のイベント等を開催し、富山の食の魅力をアピールした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「富山県フェア」(大宮)、「越中富山うまいもんフェア」(名古屋)、民間企業と連携した食のフェアの開催 ・新幹線開業を記念して、東京駅構内のコインロッカー側面等を利用し、本県の魅力を発信するラッピング広告を掲出 ・県産食材を使用した駅弁を開発し、東京駅等の首都圏の主要駅で販売 	農産食品課
富山米のブランド力向上 (12,240千円)	<p>首都圏等での富山米販売促進キャンペーンや消費拡大のためのPRなどにより、美味しい富山米のPRとブランド力向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ほおぼる幸せ。富山米フェア」の開催 (平成27年11月11日～17日) 有楽町駅前広場、日本橋高島屋 	農産食品課
「富のおもちかえり」ブラッシュアップ事業 (6,511千円)	<p>本県の農林水産品を活用したお土産品「富のおもちかえり」の新商品を開発し、ラインナップを充実させるとともに、県内外でのPR活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新商品4品追加 	農産食品課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (9,000千円)	<p>「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の陣(富山産業展示館、平成27年11月7日～8日) 県内外から約26,000人が来場 ・冬の陣(富山市内、平成28年2月6日) 「越中料理と地酒を楽しむ会」 県内外から195人が参加(うち県外から49人参加) 	農産食品課
ふるさと認証食品(Eマーク)制度の普及 (310千円)	<p>県内の良質な農林水産加工食品について、一定基準を満たす食品を「富山県ふるさと認証食品(Eマーク)」として認証し、県産特産品のイメージアップと有利販売を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・14商品を新規に認証、延べ313商品 	農産食品課
地産地消の推進 (9,440千円)	<p>ポイント制度の実施や食マルシェの開催など、県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「とやまの旬」応援団の募集(4,110名)と活動支援 ・地産地消大商談2015の開催 「とやまの食」マルシェ、「とやまの食」展示・商談会(直売やステージイベントなどに約8千人が参加) ・県産品購入ポイント制度の実施 (約1万7千件の応募) 	農林水産企画課 農産食品課
「富山のさかな」魅力発信事業 (11,400千円)	<p>県産水産物が県内外の消費者から高い評価を得る「第一級の魚ブランド」としての地位の確立を図るため、その魅力の周知及び消費拡大のためのPR活動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン協力店の募集、既存店のフォロー ・ホームページを活用した情報発信 ・「富山のさかな」おもてなしフェアの開催 (平成28年2月10日 ザ・キャピトルホテル東急(東京)) ・「富山のさかな」PR in 軽井沢の実施 (平成27年8月8日、9日 軽井沢・プリンスショッピングプラザでのイベントの開催) (平成27年7月1日～8月31日 JR軽井沢駅でのポスター掲出及びデジタルサイネージを活用したPRの実施) など 	水産漁港課

(4) 伝統文化、工芸品等上質な富山を提供する観光商品の開発

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
歴史と文化が薫るまちづくり事業 (65,272千円)	<p>歴史的・文化的な地域資源を活用した地域づくりを推進するため、モデル地域を選定し、推進計画の策定や同計画に基づいて実施するまちづくり事業に対して支援し、観光振興や地域の活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 鰻絵と街道がつなぐ過去・現在・未来（射水市） ・ 万葉の風土に寺内町の風情があふれ、みなと町の香り漂う歴史と文化のまち（高岡市） ・ 棟方志功が暮らした「福光」、巴御前終焉の地「福満」まちづくり（南砺市） <p>ほか3件</p>	地域振興課
「富山県推奨とやまブランド」推進事業 (10,083千円)	<p>「富山県推奨とやまブランド」の魅力を、県内外に発信することにより、県産品の知名度の向上や本県のイメージアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東京などで開催した県主催イベントにブースを出展し、認定品をPR ・ 富山空港でのコルトン広告及び展示ブースの設置によるPR 	地域振興課
「明日のとやまブランド」育成支援事業 (4,992千円)	<p>事業者がブランド関係の専門家から助言、指導を受ける取組み等を支援することにより、新たな「とやまブランド」の育成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7品目7事業者を新たに選定 	地域振興課
地域文化力向上・活性化支援事業 (4,400千円)	<p>県内団体が取り組む特色ある文化事業を支援し、地域の文化力の向上や文化を活かした地域活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助件数 10件 	文化振興課
内山邸文化の魅力再生事業 (2,700千円)	<p>平成10年に国登録有形文化財に登録された内山邸において、利用促進のための魅力発信事業を実施した。</p>	文化振興課
越中富山お土産プロジェクト事業 (1,714千円)	<p>デザインを切り口として統一感を持たせた富山らしい魅力あるお土産商品群づくりを行う「越中富山お土産プロジェクト」の新商品の開発や販路開拓、PRを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ブランド名「越中富山 幸のこわけ」 ・ 商品数 25企業 30商品 	商工企画課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま中小企業 チャレンジファ ンド ビジター 対応ビジネス支 援事業 (7,629 千円)	北陸新幹線開業、外航クルーズ船寄港、富山ー台北 便増便等交通基盤の拡充に関連した新商品・新サービ スの開発に係る事業や、国内外の観光客等への対応に 係る事業を支援した。 ・採択件数 10 件	経営支援課
とやま新事業創 造基金 地域資 源ファンド事業 (57,950 千円)	中小企業者が取り組む、富山ならではの地域資源（産 地の技術、農林水産物、観光資源）を活用した新商品開 発・販路開拓等に対して、資金の支援を実施し、魅力あ る特産品の開発・普及を図った。 ・実施件数 14 件	経営支援課
とやま新事業創 造基金 農商工 連携ファンド事 業 (64,250 千円)	中小企業者と農林漁業者とが連携して行う新商品開 発・販路開拓等に対して、資金の支援を実施し、魅力あ る特産品の開発・普及を図った。 ・実施件数 10 件	経営支援課
農商工等連携支 援事業（地域資 源活用・農商工 連携商品 P R 事 業） (1,093 千円)	東京のアンテナショップや県内で地域資源活用や農 商工連携による新商品等の展示・試食会等を開催し、本 県の新たな特産品の普及を図った。 ・実施回数 3 回（東京 2 回、県内 1 回）	経営支援課
続け！まちの逸 品事業 (1,499 千円)	「まちの逸品（べつばら富山）」として新たな商品を追 加選定するとともに、P R を実施した。 ・商品数 22 商品	商業まちづ くり課
地産地消の推進 (再掲) (9,440 千円)	ポイント制度の実施や食マルシェの開催など、県民ぐ るみで県産品を大きく育てる地産地消運動を展開した。 ・「とやまの旬」応援団の募集（4,110 名）と活動支援 ・地産地消大商談 2 0 1 5 の開催 「とやまの食」マルシェ、「とやまの食」展示・商談会 （直売やステージイベントなどに約 8 千人が参加） ・県産品購入ポイント制度の実施 （約 1 万 7 千件の応募）	農林水産企 画課 農産食品課

(5) 産業観光、ロケ地、スポーツ等多様なツーリズムの展開

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
着地型旅行商品 ブラッシュアップ事業 (19,979千円)	旅行者の周遊を促進し、本県での滞在時間の増加を図るため、地域の観光資源の商品化・ブラッシュアップ及び販売管理、旅行会社への営業プロモーション、観光素材説明会の開催等を行った。	観光課
産業観光魅力創出促進事業 (2,285千円)	産業観光に取り組む県内企業の受入体制整備を促進し、産業観光の魅力アップを図るため、県内企業が行う受入体制整備に対する所要経費の一部を助成した。 ・補助件数 8件	観光課
教育旅行受入体制整備事業 (1,631千円)	北陸新幹線の開業により首都圏からの所要時間が短くなったことから、宿泊・体験施設等の関係者向け研修会を開催し、教育旅行の受入体制整備を図った。また、旅行会社の招聘・出向宣伝を行い、富山県への教育旅行を学校へ提案してもらえるよう働きかけた。	観光課
プロスポーツチーム地域活性化事業 (4,500千円)	プロスポーツチームの運営会社に取り組む地域活性化に資する事業を支援し、地域活性化及び観光振興を図った。 ・補助実績 3団体 ・主な事業内容 ホームゲームでの県民参加型イベントの実施	知事政策局
県民スポーツ振興事業 (85,825千円)	北陸新幹線開業を機に県民総参加によるスポーツ振興や富山の魅力創造、交流人口の拡大を図るため、「富山マラソン2015」の開催を支援した。 ・富山マラソン実行委員会等の開催 ・富山マラソン2015の開催(12,298名出走) ・富山マラソン開催機運の醸成 など	知事政策局
とやま夏期大学の開催 (4,000千円)	富山県の雄大で美しい自然の中で、質の高い学びと楽しみの場を提供する「とやま夏期大学」を開催し、自然、歴史文化、食など本県の様々な魅力を知るきっかけとして、今後の観光振興や交流人口の拡大を図った。 ・開催期間 平成27年7月24日～7月27日 ・開催地 立山国際ホテル	地域振興課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
近代美術館管理 運営費 (218,575千円)	20世紀初頭から現在にいたる美術の流れを、世界・日本・富山の3つの視点から展望する近代美術館において、常設展や企画展(6回)の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興課
水墨美術館管理 運営費 (158,247千円)	水墨画など特色のある日本文化の美を広く紹介する水墨美術館において、常設展や企画展(7回)の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。	文化振興課
高志の国文学館 管理運営費 (775,505千円)	県民のみならず県外からの観光客にとって、富山県ゆかりの文学に親しみ学ぶ拠点となる高志の国文学館において、企画展や講演会の開催のほか、ふるさと文学振興のための普及啓発事業等を実施した。 ・企画展(6回) ・ふるさと文学県民講座等の開催(14回)	文化振興課
世界的舞台芸術 拠点づくり推進 費 (147,414千円)	「舞台芸術特区TOGA」における世界的な舞台芸術拠点づくりの推進により、質の高い芸術文化を創造・発信するとともに、交流人口の拡大を図った。 ・世界演劇祭「利賀サマー・シーズン2015」の開催 ・国際的な舞台芸術人材育成、青少年への普及・教育	文化振興課
イタイイタイ病 資料館管理運営 費 (44,080千円)	イタイイタイ病に関する貴重な資料を収集・保管し、施設展示や情報発信を通じて、その教訓等を後世に継承するための事業を実施した。 ・語り部講話、県民フォーラム、特別企画展 ・小学生を対象とした現地ツアー、研究講座 ・資料の収集及び保管 等	健康課
とやま中小企業 チャレンジファ ンド ビジター 対応ビジネス支 援事業 (7,629千円)	北陸新幹線開業、外航クルーズ船寄港、富山ー台北便増便等交通基盤の拡充に関連した新商品・新サービスの開発に係る事業や、国内外の観光客等への対応に係る事業を支援した。 ・採択件数 10件	経営支援課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま帰農塾推進事業 (6,734千円)	<p>「豊かな自然に囲まれた田舎暮らし」に興味や憧れを持つ都市住民を、自然に恵まれた本県の農山漁村に受講生として迎え、農林水産業や伝統文化体験を盛り込んだ滞在型グリーン・ツーリズム「とやま帰農塾」を開講し、都市と農村との交流人口の拡大、農村への定着、観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやま帰農塾の開講（9市町12ヶ所 全12講座） ・三大都市圏等へのPR 	農村振興課
うるおいある景観づくり推進事業費 (10,006千円)	<p>地域の歴史や文化などを活かした個性豊かな景観を守り育てるとともに、観光振興の視点にも立った良好な景観づくり・街並みづくりを推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「景観づくりフォーラム2015」の実施 ・景観づくり顕彰「うるおい環境とやま賞」の表彰 ・景観づくり住民協定締結事業等に対する支援 ・ふるさと眺望点（30地点）の普及啓発 ・「立山・大山地区景観づくり重点地域」届出制度の実施 	建築住宅課

（6）冬季の魅力創出による通年観光の促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
環水公園等賑わい空間創出事業 (再掲) (18,500千円)	<p>北陸新幹線の開業を見据え、次のようなイベントを開催し、環水公園を軸とした富山駅北周辺地区の賑わい創出と魅力向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夏、冬の花火大会等の四季折々のイベント ・冬季の公園の魅力向上と賑わいを創出するための、光と音楽を楽しむイベント ・バルイベントや移動販売車の祭典など、食の魅力を活用したイベントなど 	観光課
環水公園ナイトファンタジア事業(再掲) (3,500千円)	<p>環水公園に夜間も含めて長期間滞在してもらえよう、夜も楽しめるようなイベントコンテンツなどを充実させた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショートムービーの制作及び上映 ・ミニイベントの実施 	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
環水公園ウィンターファンタジア事業(再掲) (3,200千円)	<p>冬季の環水公園等富山駅北地区の賑わい創出を図り、音楽、花火等を組み合わせたイベントを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バレンタイン花火の実施 ・ゴスペルライブ等の音楽イベント 	観光課
「越中とやま食の王国フェスタ」の開催 (再掲) (9,000千円)	<p>「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の陣(富山産業展示館、平成27年11月7日～8日) 県内外から約26,000人が来場 ・冬の陣(富山市内、平成28年2月6日) 「越中料理と地酒を楽しむ会」には、県内外から195人が参加(うち県外から49人参加) 	農産食品課
「富山のさかな」魅力発信事業(再掲) (11,400千円)	<p>県産水産物が県内外の消費者から高い評価を得る「第一級の魚ブランド」としての地位の確立を図るため、その魅力の周知及び消費拡大のためのPR活動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャンペーン協力店の募集、既存店のフォロー ・ホームページを活用した情報発信 ・「富山のさかな」おもてなしフェアの開催 (平成28年2月10日 ザ・キャピトルホテル東急(東京)) ・「富山のさかな」PR in 軽井沢の実施 (平成27年8月8日、9日 軽井沢・プリンスショッピングプラザでのイベントの開催) (平成27年7月1日～8月31日 JR軽井沢駅でのポスター掲出及びデジタルサイネージを活用したPRの実施) など 	水産漁港課

4 戦略的なプロモーション

(1) 「海のあるスイス」のイメージ醸成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
立山黒部観光宣伝協議会負担金 (2,500千円)	富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の促進を図った。 ・パンフレット作成 ・三大都市圏におけるPR等の宣伝活動 など	観光課
観光季刊誌「ねまるちゃ」発刊事業 (23,000千円)	旬の観光情報や食・体験・イベント等をPRする観光情報誌「ねまるちゃ」を発行し、JR首都圏各駅に配架するなど大都市を中心に「富山ならではの」魅力を強力に発信した。	観光課
ツーリズム EXPO ジャパン出展事業 (8,994千円)	全国の旅行会社、海外バイヤー、旅に興味のある多数の一般来場者が集うアジア最大級の旅行博に出展し、本県の世界クラスの観光素材を売り込むことにより、誘客を促進した。 ・東京ビッグサイト（平成27年9月25日～27日）	観光課
富山県・新観光振興戦略プラン策定事業（再掲） (9,416千円)	新・富山県観光振興戦略プランを策定するため、北陸新幹線開業後の状況や課題について基礎調査を行うとともに、有識者や観光・交通事業者等からなる検討会議を開催した。 ○基礎調査 ・富山県観光客動態調査（観光地点パラメータ調査） 県内での訪問地点数や観光消費額等について、観光客に面接アンケート調査を実施した。 ・観光関係機関へのアンケート調査 新幹線開業前後の来訪状況の変化について、宿泊施設及び観光施設に郵送アンケート調査を実施した。 ・首都圏居住者アンケート調査 新幹線開業前後の来訪状況について、首都圏居住者にインターネット調査を実施した。	観光課

(2) ターゲットの特性に応じ、リピーターや定住をも意識した効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「いきいき富山館」管理運営事業 (72,529千円)	<p>東京アンテナショップ「いきいき富山館」の催事コーナー（物産館）及び展示コーナー（情報館）で企画展や観光・物産キャンペーン等を開催して、本県の物産・観光の魅力を首都圏に情報発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種特産品フェア、実演・試食販売 ・観光展、写真展、各種観光PR など 	観光課
富山県の物産と観光展の開催 (30,062千円)	<p>大都市圏において、「富山県の物産と観光展」を開催し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・埼玉（平成28年1月13日～18日） 高島屋大宮店 ・名古屋（平成28年1月28日～2月2日） 丸栄栄店 ・東京（平成28年2月4日～10日） 東急吉祥寺店 	観光課
北海道における富山県の物産と観光の紹介事業 (3,000千円)	<p>北海道富山会館において、本県の物産の展示、紹介及び観光宣伝等を実施し、本県への誘客や特産品販売の拡大を図った。</p>	観光課
新旅行造成市町村タイアップ事業 (17,178千円)	<p>県内市町と連携して、観光地や施設の魅力を体験できるプログラムを造成し、首都圏等においてPRを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験プログラムPR冊子の製作・配布（都営地下鉄駅、東京スカイツリーなど） ・代官山T-SITEでの富山マーケット等の開催 ・メディアツアーの実施 	観光課
関西圏戦略的PR事業 (13,779千円)	<p>関西圏の中で富裕層が多いとされる阪急線沿線で観光物産展等を展開し、北陸新幹線開業後の関西方面からの誘客を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光物産展の開催 開催期間：平成28年1月16日、17日 開催場所：阪急西宮ガーデンズ ・交通広告の実施 阪急線中吊り広告（阪急神戸線、宝塚線、京都線） 掲出期間：平成28年1月14日～17日 ・阪急友の会会報誌「阪急友の会通信」記事型広告 掲載時期：冬号 (平成27年11月20日発行/10万部) 	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光パンフレット等作成 (5,989千円)	県内の主要な観光資源と地図情報をあわせて紹介する「とやま観光MAP」を作成・配布し、誘客を図った。	観光課
「ロカルちゃ！富山」観光発信事業 (2,800千円)	富山の魅力を深く掘り下げたテーマ別観光情報誌「ロカルちゃ！富山」を発行し、個人旅行者の多様なニーズに対応した観光情報を発信した。 ・発行回数 1回（伝統工芸・クラフト編） ・発行部数 30,000部	観光課
「パノラマ・キトキト富山」新聞発行事業費 (3,500千円)	首都圏を中心に発行する「パノラマ・キトキト富山」新聞の制作を支援し、首都圏等からの観光誘客の促進や本県の認知度向上を図った。 ・発行回数 1回（H27年4月発行） ・発行部数 135万部 ・発行地域 首都圏、富山県、石川県	観光課
観光ホームページ等更新事業補助金 (1,200千円)	富山県観光ホームページ「とやま観光ナビ」の内容の充実等により、富山県の魅力を国内外にPRし、観光誘客の促進を図った。 ・観光ホームページのサーバー運営管理 ・既存ページの修正・情報追加 ・セキュリティ対策 など	観光課
観光キャンペーン負担金、観光振興事業補助金 (28,248千円)	（公社）富山県観光連盟（現 とやま観光推進機構）が実施する誘致宣伝・普及活動や観光振興の事業等に対し、負担金及び補助金を交付した。 ・一般消費者向け観光PR事業 （新聞、雑誌、ラジオ等による情報発信 など） ・旅行会社向け観光PR事業 （出向宣伝、観光説明会 など） ・観光PR資料作成事業 （各種観光情報誌の発行 など）	観光課
観光季刊誌「ねまるちゃ」発刊事業（再掲） (23,000千円)	旬の観光情報や食・体験・イベント等をPRする観光情報誌「ねまるちゃ」を発行し、JR首都圏各駅に配架するなど大都市を中心に「富山ならではの」魅力を強力に発信した。	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
東京圏情報発信拠点整備推進事業 (120,637千円)	物販に加え、飲食の機能や観光・定住・U I J ターン情報の提供等の機能を有する新首都圏情報発信拠点「日本橋とやま館」の開設に向けた準備業務を実施した。 ・入居する物件の選定 ・施設の設計等	地域振興課
羽田エアポートアドビジョン富山県PR事業 (3,629千円)	羽田空港国内線第2旅客ターミナルビル地下1階のデジタルサイネージを活用して、富山県内のイベントや観光地を紹介する映像を放映し、首都圏での本県の認知度向上、イメージアップ及び誘客促進を図った。 ・ほぼ月替わりで12本を放映	広報課
トヤマ・ジャスト・ナウ (2,396千円)	県内のイベントや観光、特産品等の旬の情報をホームページ「トヤマ・ジャスト・ナウ」に掲載するとともに更新情報をメールマガジンで配信し、富山の最新情報をタイムリーに情報発信した。 ・毎週水曜日に1つの記事をホームページ、メールマガジンで配信 ・約7,500人に配信（平成28年3月現在）	広報課
元気とやま応援寄附金 (3,614千円)	一定額以上のふるさと納税（寄附）者に対し、県特産品等を贈呈することにより、特産品や観光資源のPRを行った。 ・リーフレットの作成、配布 ・HPでのPR ・寄附金額に応じ、地酒、ほたるいかセット等を贈呈 【H27年度：申込者数 397人、申込金額 14,659千円】	税務課
とやまの名水魅力発信事業 (3,300千円)	「とやまの名水」をPRするため、採水地周辺の写真等をラベルに用いたペットボトルの製作に対して補助するとともに、このペットボトルを買い上げ、デスティネーションキャンペーンなどで無料配布した。	県民生活課
富山くすりフェア開催事業 (2,000千円)	北陸新幹線開業1周年の機会を捉え、平成28年3月4日～6日まで、東京駅丸の内南口前のJPタワーKITTEにおいて、「富山のくすり」の歴史や医薬品産業の現状を紹介する展示を行い、首都圏に向けて「富山のくすり」の魅力を発信した。	くすり政策課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「富山のくすり」 販路拡大事業 (800千円)	<p>(一社)富山県薬業連合会が東京アンテナショップにおいて開催した「出会いが効く越中富山のくすりフェア」及び名古屋丸栄百貨店での県物産展へのくすりブース出展を支援し、大都市圏において「富山のくすり」の魅力を発信した。</p> <p>日時：①平成27年11月24日～11月29日 ②平成28年1月28日～2月2日 ③平成28年2月23日～2月28日</p> <p>場所：①、③東京アンテナショップ(いきいき富山館) ②名古屋丸栄百貨店</p>	くすり政策課

(3) 交通事業者、大手旅行会社、近隣自治体等と連携したプロモーション

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
北陸新幹線開業効果活用誘客促進事業 (32,472千円)	<p>JR各社とのタイアップによる広告宣伝等を展開し、北陸新幹線の開業効果の持続並びに誘客促進を図った。</p> <p>【首都圏・新幹線沿線地域でのタイアップ(JR東日本)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・びゅう旅行商品「富山とりっぷ」の造成 首都圏発着商品として年4回展開 ・大人の休日倶楽部モニターツアーの企画・実施 第1回 平成27年11月16～17日 第2回 平成28年3月10～11日 <p>【関西圏・中京圏でのタイアップ(JR西日本・東海)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大手旅行会社における「富山・飛騨世界遺産パス」を活用した旅行商品の造成促進 ・JR主要駅におけるデジタルサイネージ・ポスター等による広告掲出 	観光課
北陸デスティネーションキャンペーン推進事業 (29,884千円)	<p>JR各社と北陸三県等が連携し、大型観光キャンペーン「北陸デスティネーションキャンペーン」(平成27年10月～12月)を全国展開した。県単独でのイベント等により一層の集客を図った。</p> <p>【DC期間における主な成果】(前年比)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・宇奈月温泉宿泊者数 136.3% ・富岩水上ライン乗船者数 299.9% ・国宝瑞龍寺 188.9% 	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山の「食と技」 魅力発信誘客事業 (9,512千円)	<p>J Rグループのホテルとタイアップし、県産食材と工芸品を用いたレストランフェアを開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルニューグランド(平成27年9月～10月) ・ホテルメトロポリタン長野 (平成27年9月～10月) ・ホテルメトロポリタン仙台(平成27年11月) <p>また、本県の特産品や工芸品を販売する産直市をJ R首都圏駅にて行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・J R上野駅(平成27年10月15日～17日) 	観光課
九州航空路線誘客 推進強化事業 (863千円)	航空路線を利用した誘客が見込める九州エリアの旅行会社招聘や観光説明会等を実施した。	観光課
地域活性化・地域 住民生活等緊急支 援交付金(地域消 費喚起・生活支援 型)を活用した観 光振興にかかる消 費喚起・プロモー ション等実施事業 (471,360千円)	<p>旅行会社(店舗販売)やインターネット宿泊予約サイトにおける旅行商品の割引販売等を実施した。合わせてJ R大阪駅ガラス壁面による大規模広告を活用したP Rなど旅行商品の販売に係わるプロモーションを実施し、大都市圏を中心に交通媒体・雑誌・メディア媒体等への告知を行った。</p> <p>【旅行商品の造成・販売】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社(店頭販売) 9社 ・インターネット宿泊予約サイト 3社 <p>【J R大阪駅での大規模広告】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央北口アトリウム広場ノースゲートビルエレベーター壁面(平成27年8月25日～9月14日) 	観光課
「杜の賑い」開催 事業費 (7,500千円)	<p>JTBグループと連携し、郷土の伝統芸能を一堂に集めたイベント「杜の賑い」を開催し、富山の魅力を全国に発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成27年10月4日(2回講演) 富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール) ・参加者 国内外より4,000人超 	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
世界遺産登録20周年記念事業 (9,320千円)	五箇山合掌造り集落の世界遺産登録20周年を契機として、岐阜県と南砺市と連携したPRを実施した。 ・首都圏プロモーション事業 実施時期：平成27年11月21日(土)、22日(日) 場所：東京都世田谷区玉川 二子玉川ライズ中央広場 内容：観光PR、伝統芸能の披露、特産品のPR・販売、合掌造り模型展示等 ・高速道路広域周遊プラン造成事業 実施時期：平成27年7月1日～11月30日 実施内容：NEXCO中日本高速道路(富山県全域と飛騨地域)の料金割引企画 ・旅行雑誌等にPR じゃらん関東東北版(8月号)掲載 高島屋会員向け雑誌(タカシマヤサロン9月号)掲載 ・世界遺産五箇山合掌文化アカデミー事業 世界遺産登録20周年記念事業実施に係る負担金	観光課
「富山で休もう。」キャンペーン2015事業 (10,000千円)	県内市町村と連携して「富山で休もう。キャンペーン」を実施し、郵便局と連携した企画やプレゼント企画の実施などにより、富山旅行の動機づけを図った。	観光課
北陸三県誘客促進連携協議会負担金 (3,000千円)	北陸三県及びJR西日本と連携し、北陸デスティネーションキャンペーン(平成27年10月～12月)やジャパニーズ・ビューティー・ホクリクキャンペーン(平成28年1月～3月)を中心に北陸新幹線開業効果の持続および誘客促進を図った。 ・北陸デスティネーションキャンペーンPRイベント ・旅行会社店舗社員・レジャー記者招聘 ・大都市圏での観光素材説明会開催 ・観光情報誌「北陸物語」の発行 など	観光課
北陸広域観光推進協議会負担金 (2,500千円)	北陸への観光誘客拡大を図るため、北陸三県と各県の商工関係団体、観光連盟などからなる協議会を組織し、連携を図りながら、観光キャンペーン及び観光情報の発信を行った。 ・北陸の観光パンフレット・マップの作成 ・北陸三県観光連盟との共同宣伝事業など	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
飛越能経済産業観光都市懇談会負担金 (100千円)	<p>飛騨、富山県西部及び能登地域の県、市町村、経済団体等が連携して地域の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「移動＋宿泊＋レンタカー」がセットになった旅行商品を造成・販売 ・イベント相互交流事業 など 	観光課
(公社)日本観光振興協会観光情報システム負担金 (200千円)	(公社)日本観光振興協会へのシステム負担金の拠出により、自治体や市町村観光協会等が情報の更新を行う国内旅行ポータルサイト「全国観るなび」及び同更新システムの運営を支援した。	観光課
ノーベル街道魅力向上・普及促進事業 (3,909千円)	<p>梶田隆章氏のノーベル物理学賞受賞を契機に、ノーベル街道沿線地域の魅力を県内外に向けて広く発信するため、ノーベル街道デジタルサイネージを県外からの来訪者も多く目にする場所に設置し、飛越地域への一層の誘客促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設置場所 富岩運河環水公園、富山きときと空港 	観光課
「ぶり・ノーベル街道ウォーク」負担金 (1,000千円)	<p>ノーベル賞受賞者ゆかりの地をむすぶ国道41号沿線地域(ノーベル街道)のウォーキングを通じて、その魅力を体感してもらう「ぶり・ノーベル街道ウォークツアー2015」(富山市2回、飛騨市1回)を開催し、ノーベル街道を中心とする広域観光の振興を図った。</p>	観光課
県内スポーツチームと連携した観光PR事業 (250千円)	<p>県内プロスポーツチーム(富山グラウジーズ)と連携し、選手のユニフォーム等に県の観光ロゴマークを表示してもらうことにより、対外試合等を通じたPRを実施した。</p>	観光課
プロスポーツを活用した観光と物産展開催事業 (945千円)	<p>県内プロスポーツチームの県外での試合会場等において、観光キャンペーンや特産品の紹介等を実施し、観光PRを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「カタールレ富山」1試合 ・「富山サンダーバーズ」4試合 	観光課
越地域等との交流推進事業 (536千円)	<p>飛越地域の自然文化等の優れた地域資源を活かしながら地域振興を図る「日本の心のふるさとを守り育てる飛越協議会」において、この地域の交流と連携を推進するとともに、自然をはじめ、祭りや伝承、匠の技や味等のPR活動を全国や海外に向け展開した。</p> <p>(協議会の主な事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットやホームページによるPR ・飛越地域への海外誘客の促進 	知事政策局

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
「鉄軌道王国とやま」全国発信事業 (4,299千円)	<ul style="list-style-type: none"> ・県内外の鉄道ファン、写真愛好者などを対象に、北陸新幹線を含む県内の鉄軌道をテーマにしたフォトコンテストを開催した。 ・県内の多種多様な鉄軌道の魅力を体験してもらうモニターツアーを実施した。 	総合交通政策室
ディスカバー北陸プロジェクトへの参画 (850千円)	北陸三県の行政と新聞社が連携して、首都圏および北陸三県の大学生と協働した取組みを行うなど、北陸エリアの地域力向上のための事業を実施した。	地域振興課
北陸イメージアップ推進会議負担金 (1,600千円)	<p>北陸経済連合会、北陸電力及び北陸三県で推進会議を構成し、北陸の魅力を地域内外に発信して、北陸のイメージアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸新幹線開業による北陸のイメージ変化を調査 ・首都圏の交通事業者と連携したイメージアップイベントの実施 ・Facebook「北陸物語」での情報発信 など 	地域振興課

(4) 映画等の誘致や多様なメディアの活用・連携

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国内メディア招聘事業 (772千円)	<p>全国規模の新聞・テレビ・雑誌等の編集者等を招聘し、取材記事の掲載等を働きかけることにより、パブリシティを強化し、本県への誘客促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑誌「月刊ダイバー」、雑誌「家庭画報」など 	観光課
映画を活用した観光PR事業 (2,900千円)	<p>本県が舞台やロケ地となる映画の誘致を進めるとともに、これらの映画を活用した観光PRを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・映画「NORIN TEN」のロケ地PR ・映画「人生の約束」の撮影支援、ロケ地PR 	観光課
「木曾義仲出世街道」再発見・再発信事業 (1,200千円)	<p>越中富山を舞台として活躍した「義仲と巴」のゆかりの史跡や伝承の発掘などにより、「義仲と巴」を活用した観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「義仲・巴御前」をテーマとしたPRMAPの作成・配布 ・埴生護国八幡宮など、県西部の史跡を巡る史跡探訪バスツアーの実施 	知事政策局

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
アニメ「サザエさん」オープニング映像を活用した魅力PR事業 (8,640千円)	北陸新幹線開業PRを効果的に行い、観光誘客など新幹線の開業効果を高めるため、アニメ番組「サザエさん」のオープニングにおいて、富山県の観光名所などをサザエさんが訪れる映像を制作し、平成27年4月から同年9月にかけて放送することで、富山県の自然、歴史、食などの魅力の情報発信を行った。	知事政策局
全国PR事業 (614千円)	共同通信PRワイヤーを活用したリリース配信により、全国に向けて富山県内のイベントや首都圏で開催するイベントの情報等を発信し、本県の魅力やイベント等の認知度向上を図った。 ・配信本数 16本	広報課
首都圏メディアPR事業 (8,295千円)	首都圏メディアへのリリース配信等により、本県の魅力やイベント等の認知度向上を図った。 ・首都圏メディアへのリリース原稿の作成、配信 ・リリース事項に関するプロモーション活動 ・首都圏メディアとのリレーション構築	広報課
首都圏メディア取材誘致事業 (658千円)	首都圏及び全国に発信すべき本県の重点広報事項(とやまブランド、特色ある施策・事業等)について、大きな露出効果が期待されるメディア掲載企画等に対して協賛又は本県への取材誘致を行い、本県のイメージ・認知度の向上を図った。	広報課

5 国際観光の推進：新たなゴールデンルートの形成に向けて

(1) 広域観光周遊ルートの形成促進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
北陸新幹線沿線 地域連携事業 (1,187千円)	J Rパスを利用した外国人旅行者誘客のため、北陸新幹線沿線自治体(1都1府9県)が連携し、沿線地域の観光映像制作による情報発信や東南アジアの旅行博への出展等を行い、海外からの観光客の来訪促進を図った。	観光課
中部広域観光推進協議会負担金 (3,000千円)	中部北陸9県の地方公共団体、観光団体、企業等が連携して域内の観光資源のPR等を行い、広域観光の促進を図った。 ・ハイレベルミッションの派遣(インドネシア) ・国際観光振興事業の展開 など	観光課
北陸国際観光テーマ地区推進富山協議会負担金 (2,800千円)	石川県、福井県と北陸国際観光テーマ地区推進協議会を組織し、海外での旅行博への出展や旅行会社の招聘等を通じ、海外からの観光客の来訪促進を図った。	観光課
(独)国際観光振興機構負担金 (720千円)	(独)国際観光振興機構(J N T O)と連携して旅行者やマスメディア等の招聘などを行い、外国人旅行者の来訪促進を図った。	観光課

(2) 外国人個人旅行者(F I T)の受入環境の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光地誘導案内デザイン統一化促進事業(再掲) (3,955千円)	外国語標記に対応した統一のデザインによる観光地誘導案内標識を整備し、旅行者の利便性向上を図った。 ・広域観光案内標識(県事業) 設置件数 2件(能越自動車道の能越県境PA) ・外国語観光サイン整備(市町村補助事業) 補助件数 新規3件 改修19件	観光課
北陸新幹線開業F I T(外国人個人旅行者)向け案内動画制作事業 (2,700千円)	北陸新幹線開業を契機としたF I T誘客のため、県内在住外国人が県内観光地を案内する動画を制作し、動画投稿サイト等を通じて発信した。	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
外国人旅行者向け 利便性向上事業 (1,860千円)	県内のホテル旅館等の観光施設が行う外国人観光客の受入体制整備（無線LANの整備）を支援した。 ・補助件数 9件	観光課
外航クルーズおもてなし大作戦 事業 (1,347千円)	クルーズ乗船客の満足度を高めるため、岸壁に観光案内所・物販販売コーナーを設置した。 ・実施回数 2回	観光課
訪日旅行・富山 旅行センターの 設置等(再掲) (14,873千円)	国内外の個人旅行者の増加に対応し、日本語、英語、中国語で広域の観光情報等を提供するため、案内デスクやデジタルサイネージ、ウェブサイト等の整備を行った。	観光課
とやま観光未来 創造塾事業（再 掲） (20,890千円)	おもてなし力の向上やお客様に満足いただける観光ガイドの育成、魅力ある観光地域づくりをリードする人材の育成を図った。また、外国人旅行者向けのガイドツアーを企画する人材育成を目的として、新たに「グローバルコース」を開設した。 ○修了生 65名 (内訳) 観光おもてなし入門コース 21名 観光ガイドコース（中級専攻） 11名 " (上級専攻) 5名 観光魅力アップコース（食のおもてなし専攻） 9名 " (観光地域リーダー専攻) 17名 グローバルコース 2名	観光課
外国人対応サー ビス人材育成事 業（再掲） (6,572千円)	外国人旅行者の受入態勢を充実させるため、観光事業者において雇用型訓練を実施することにより、外国人旅行者に接遇やサービスを提供できる人材を育成した。	観光課
とやま名誉友好 大使の委嘱 (380千円)	外国人の本県在住経験者を「とやま名誉友好大使」に委嘱し、富山県を広く海外に紹介してもらうことにより、本県への関心を高め、観光客の誘致促進を図った。 ・委嘱数 33人（全体1,391人委嘱）	国際課
免税店開設支援 モデル事業 (218千円)	外国人観光者の受け入れ拡大を図るため、免税店の開設に要する店舗の環境整備等を支援した。 ・補助件数 3件	商業まちづくり課

(3) 欧米豪など新規市場に向けた効果的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
欧米系FIT (個人旅行者) 誘客促進事業 (3,481千円)	北陸新幹線開業を契機とした欧米からのFIT誘客のため、旅行ガイドブックへの広告掲載や、首都圏自治体(台東区・墨田区)との連携による新幹線を活用した周遊型観光のPRを行い、本県の知名度向上及び観光客の来訪促進を図った。	観光課
映像コンテンツ 活用欧州観光客 等誘致促進事業 (3,000千円)	フランスにおける富山県の豊かな自然や文化などの映像コンテンツを活用したイベントの開催や、イベント映像の配信等を支援することにより、欧州等に向けて富山県をPRした。	観光課
欧米豪観光客誘 致促進事業 (2,800千円)	高山市、日本のふるさとを守り育てる飛越協議会(飛騨市、白川村)と共同で、欧米豪向けWEBサイトに観光情報を掲載したほか、豪州において現地広告等を実施し、当該地域からの誘客を図った。	観光課
欧米PR広告事 業 (801千円)	欧米での知名度向上を図るため、旅行会社のパンフレットや訪日外国人向け日本情報ポータルサイトに本県の観光広告を掲載し、観光客の来訪促進を図った。	観光課
インド映画等ロ ケ地巡礼促進事 業 (1,977千円)	富山県外国語版観光ホームページに、インド映画等の映画の県内ロケ地や周遊モデルコース等を紹介するページを作成し、映画を活用した観光客の来訪促進を図った。	観光課
海外クルーズ見 本市への出展 (854千円)	米国・フォートローダーデールで開催されたクルーズ見本市に出展し、伏木富山港及び本県の豊かな観光資源について広くPRを行った。	地方創生推進室
富山県オレゴン 州紹介展示事業 (400千円)	オレゴン州で開催された日本関連イベント等において、富山県を紹介するパネルやポスターを展示し、本県の観光資源について広くPRを行った。	国際課

(4) 東アジア・東南アジアからのリピーター拡大

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山ー台北便活 性化誘客推進事 業 (30,000千円)	台北ー富山便を利用する富山ツアーを請負った旅行会社を支援し、観光客の来訪促進を図った。	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
台湾における「富山の魅力PRイベント」開催事業 (6,700千円)	台湾嘉義市及び高雄市の新光三越において、観光地の魅力を紹介する観光物産展を開催し、知名度の向上と特産品の販路拡大を図った。 ・開催期間 平成27年10月27日～11月2日 (2店舗同時開催)	観光課
台湾冬季ツアー造成応援事業 (5,294千円)	冬季の着地型観光商品の造成に対する支援や旅行会社の招聘等を実施し、台湾からの冬季誘客を図った。特に、台湾スキー協会と連携し、台湾からのスキー客を誘致した。	観光課
台湾等との教育旅行誘致事業 (1,539千円)	本県と直行便で結ばれている台湾などの教育旅行関係者を招聘し、教育旅行の誘致、ひいては将来のリピーターや富山ファンづくりを行った。	観光課
台湾観光案内サポーター設置事業 (1,279千円)	台湾出身の観光案内サポーターを設置し、中国語(繁体字)での情報発信を行うとともに観光事業者と台湾人観光客とのコミュニケーションを支援した。	観光課
中国便利用促進に向けた観光客促進事業 (31,474千円)	上海-富山便及び北京・大連-富山便を利用した富山ツアーの催行に対して中国の旅行会社を助成し、観光客の誘致を推進した。	観光課
東アジア誘客メディア発信事業 (25,207千円)	上海からメディア及びブロガーを招聘し、テレビ番組やインターネットを利用した情報発信等を行い、本県の知名度向上及び観光客の来訪促進を図った。	観光課
富山・長野・石川広域周遊観光推進事業 (8,922千円)	中国における長野-富山-石川の周遊観光コースの認知度向上等のため、近隣県が連携して旅行会社の招聘や、現地プロモーション等を実施し、観光客の来訪促進を図った。	観光課
中国誘客促進PR事業 (2,188千円)	上海市等において富山県の観光地をPRする広告掲載やBtoCイベントを実施し、本県の知名度向上及び観光客の来訪促進を図った。	観光課
香港誘客促進PR掲載事業 (1,966千円)	香港の雑誌に富山県の観光地をPRする広告を掲載し、本県の知名度向上及び観光客の来訪促進を図った。	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ソウル発通年観光促進事業 (6,836千円)	韓国の旅行会社が主催する富山ーソウル便を利用した団体ツアーに対して送客助成するとともに、SNS活用冬季モニターツアーの実施や、現地旅行会社とのタイアップ広告を掲載し、韓国からの観光客の来訪促進を図った。	観光課
韓国通年誘客PR事業 (1,424千円)	韓国からの年間を通じた誘客を図るため、現地商談会に参加するとともに、新聞・雑誌への広告掲載を行った。	観光課
東南アジア誘客強化事業 (11,413千円)	東南アジアからの誘客を図るため、ベトナム旅行会社へのセールス、インドネシアメディアの招聘、シンガポールにおける広告掲載等を行った。また、インドネシアにおいて知事トップセールスを実施し、旅行会社に向け観光説明会を実施するとともに、マレーシアにおいて観光説明会や商談会を開催し、来訪促進を図った。	観光課
羽田乗継便活用タイ誘客促進事業 (9,186千円)	富山ー羽田乗継便の利用促進を図るため、タイにおける観光プロモーションの実施や、飲食店等が行うタイ語表記メニューの作成に対して支援した。	観光課
羽田経由海外誘客促進事業 (3,909千円)	中国・成都の旅行会社等を招聘し、富山ー羽田便を利用した旅行商品の造成・PRなどを行い、海外から富山への直行便がない地域からの誘客を促進した。	観光課
観光客誘致広告支援事業 (8,429千円)	中国、韓国、台湾、香港の旅行業者等が企画・催行する富山県向け旅行商品の広告を支援し、観光客の来訪促進を図った。 ・補助件数 10件	観光課
観光客誘致促進事業 (7,623千円)	中国、韓国、台湾、香港及び東南アジアを対象に観光宣伝事業や旅行会社等に対する招聘事業を行い、観光客の来訪促進を図った。	観光課
外国人観光客等レンタカー利用応援事業 (564千円)	外国人観光客の富山県内における滞在時間・消費の拡大や広域観光を促進するため、外国人観光客等のレンタカー利用経費の一部を助成した。	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
大連事務所運営 (25,821千円)	<p>富山県と中国との交流拡大を推進する大連事務所を拠点にし、観光振興のための各種取組みを展開し、中国からの観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「MA-TSU-RI 2015(大連)」、「大連日本商品展覧会」、「天皇誕生日祝賀レセプション(瀋陽、大連)」等での観光PR活動 ・中国の旅行会社等との面談、情報収集、PR等 	国際課
農林水産物海外 市場開拓事業 (7,494千円)	<p>県産農林水産物の海外への輸出を促進するための各種施策を展開し、海外に向けて県産農林水産物の魅力を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・香港、台湾、シンガポール、タイ、ベトナムの食品バイヤーとの県内商談会の開催 ・香港フード・エキスポへの参加 ・タイでの販売促進活動 など 	農林水産企画課

6 コンベンションの誘致促進：国際会議も富山で開こう

(1) 国際会議の誘致強化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国際会議誘致促進・開催支援事業 (1,757千円)	国際会議のより一層の誘致のため、海外での誘致活動を積極的に行うとともに、英語版誘致資料を作成し、国際会議のキーパーソンに対して本県開催の優位性をPRした。	観光課

(2) 本県の特徴等を活かした戦略的なコンベンション誘致

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
(公財)富山コンベンションビューロー補助金 (14,450千円)	(公財)富山コンベンションビューローの運営経費等に補助し、当該団体が実施する主催者支援事業及び誘致活動等を支援した。	観光課
コンベンション指導情報提供業務委託事業 (5,000千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場を運営する富山大手町コンベンション(株)を活用し、県や主催者への情報提供、施設の利用調整等を実施した。	観光課
コンベンション誘致促進事業 (2,634千円)	コンベンションに関する情報をデータベース化し、コンベンションの誘致を効果的に実施した。また、コンベンション参加者の満足度向上を図るため、会場において運営補助を行なうスタッフを配置するとともに、観光案内等を行うインフォメーションコーナーを設置した。	観光課
コンベンション誘致宣伝事業 (1,698千円)	本県の優れたコンベンション開催環境をアピールするために、商談会への出展や誘致説明会を開催した。また、主催者を招へいし、本県のコンベンション開催支援制度等をPRするとともに、会議施設や宿泊施設、エクスカーションのモデルコース等を視察してもらうなど、コンベンションの誘致に努めた。 ・商談会・誘致説明会 各1回 平成27年12月9日～10日(東京) 平成28年3月11日(富山) ・現地説明会 4回(いずれも富山)	観光課
誘致訪問活動 (1,295千円)	県内及び首都圏等において、コンベンションの主催者等を訪問し、積極的な誘致活動を展開し、本県へのコンベンション開催の誘致促進を図った。	観光課

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
コンベンション 連絡調整会議の 開催 (5千円)	コンベンション連絡調整会議を開催し、コンベンション施策等について関係市等と意見交換を行い、コンベンション誘致体制及びネットワークの強化を図るとともに、施策の充実を図った。 ・開催回数 3回 ・構成 県、市町村、(公財)富山コンベンションビューロー	観光課
「富山で合宿！」 誘致事業 (9,960千円)	県外の大学、短大、高校等が県内で行うクラブ、サークル等の合宿に係る費用の一部を助成し、富山県への合宿の誘致促進を図った。 ・補助実績 56団体	地域振興課

(3) 主催者のニーズに配慮した支援制度の充実

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山国際会議場 運営費補助金 (28,901千円)	本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場の運営等を支援した。	観光課
学会等開催補助 金 (18,980千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、誘致促進を図った。 ・補助件数 33件	観光課

(4) 富山の魅力を活かしたユニークベニューやアフターコンベンション等の提案

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
コンベンション タクシー利用促 進事業 (2,765千円)	県外からのコンベンション参加者が県内を観光する際のタクシー料金の一部を助成することにより、アフターコンベンションを支援した。併せて、制度に関するチラシやホームページ等を作成し利用促進に努めた。 ・補助件数 220件	観光課
観光ガイドドラ イバー養成事業 (51千円)	コンベンションタクシーを担当するドライバーを主に対象とした「観光ガイドドライバー養成講座」を開催し、観光案内や接遇等、おもてなし力の向上を図った。 ・観光ガイドドライバー養成講座の開催 平成27年7月22日、8月4日 参加者48人	観光課

